



SMILE ～笑う北中には福来る～ 第65回やつがね祭大成功!!

全校制作のステージバック披露、学級旗を掲げた各クラスの代表が学級目標にこめた思いを発表する場面など、それぞれを認め合う温かな拍手があふれていました。そんな拍手いっぱいの開祭式から今年度のやつがね祭もスタートしました。総合的な学習の時間の発表では、そ



れぞれの学年が課題を持って取り組んできたことや学んだことなどを写真や寸劇を交えて、わかりやすく発表してくれました。未成年の主張では、自分や周りの人の言動を振り返り、自分の考えや思いを伝える作文が発表されました。クラス発表は、ビデオや寸劇とダンスを組み合わせ、それぞれの学級の色が出た素晴らしい発表でした。それにしても皆さん、ダンス

が上手です。体育祭でも学級や縦割りグループのまとまりを感じました。自分のクラスだけでなく、他の学年も一生懸命に応援する姿が良かったです。

合唱部と吹奏楽部などのステージ発表、教科や部活動の展示発表からも、皆さんのこれまでの頑張りが伝わってきました。閉祭式では、係の生徒が作ってくれたエンディングムービー、全校が一つになって盛り上がる「輝き」、最後はしっかりとした閉祭宣言と、メリハリのある北中生の日常の姿を象徴する閉祭式となりました。閉祭式での会長の言葉（一部抜粋）です。「…真面目なところは真面目に、楽しむときは思いっきり楽しむ、そういったメリハリも大いに感じられました。中でも思いっきり楽しむときの北中生の爆発的な盛り上がりというか、エネルギーというか、本当に大好きです。…ここにいる生徒の皆さんとでしか作れない SMILE な文化祭を作れたことは、生徒の皆さん、職員の方々、そして関係者の方々のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。…」



2日間を通して素晴らしいと思ったことは、発表者の言葉に目と耳と心を向けている全校の皆さんの聴く姿です。皆さんの「幸動力」「他喜力」「他輝力」が発揮されたことで、「SMILE」が輝き、たくさんの「福」が訪れた素敵なやつがね祭になりました。きっと周りの人たちにも「福」を招くことができました。参観された保護者や地域の皆様も、ありがとうございました。

＜北中生の活躍の紹介＞

第61回 南信地区 中学校学年別水泳競技大会（9/7）



女子100m背泳ぎ	第3位
女子100mバタフライ	第4位
男子100m自由形	第5位
女子100m背泳ぎ	第7位

第53回 中学校新人体育大会 陸上競技中南信大会（9/23）



女子2年 走幅跳	第1位	（ChinoAsでの出場）
女子2年 走幅跳	第4位	

第17回 全日本少年春季軟式野球大会 南信大会（9/15、21）

東北クラブ（北部中と東部中の合同チーム） ベスト 4

音楽会の賞について考える北中Meet

10月7日(火)に、正副会長と正副学芸委員長がファシリテーターとパネリストになり、「どんな音楽会にしたいか」と「目標達成のために必要な音楽会の形式について、金賞が必要かどうか」について話し合うパネルディスカッションが行われました。全校の皆さんもグループごとに考え、自分の意見を出しながら、真剣に話し合っていました。「スマイル、笑顔で終わる音楽会にしたい。」「後輩に北中の合唱を引き継ぎたい。」「金賞はあった方が目標に向かって団結できる。」「金賞がなくても歌える音楽会がよい。」「音楽会に向けて努力したことが認められる方がよい。」など、皆さんの思いを全校で共有することができました。生徒だけでこれだけの話し合いができることに、北中の素晴らしさを改めて感じました。今の北中ならば賞がなくても素晴らしい合唱になるに違いないと、私(校長)は思っています。来週には結論を出す予定です。それぞれの人の意見、思いを大切にしながら、北中らしい合唱、音楽会を一緒に作り上げていきましょう。



部活動地域展開について(現在の状況)

文部科学省からの通達により、今現在日本全国で部活動の地域展開(学校からの移行)が進められています。茅野市でも国や県の指示を基に、様々な分野(学校、保護者会の代表者、高校、地域の各種団体、部活動の外部指導者、協会等)の代表の方からなる、茅野市部活動地域展開協議会を設置して、中学生の今後の地域展開について検討をし、今年度中には「案」をお示しできるよう動いています。今後新入生への学校説明も迫ってきています。そこで、現在の状況についてお知らせいたします。

<茅野市部活動地域展開協議会を中心に次のことを検討しています>

- 1 中学生期のスポーツや文化活動については、今まで学校でその役目を担ってきましたが、地域展開を通して、生涯スポーツ・生涯学習という視点で、中学生期のスポーツや文化活動を地域全体で支えていきます。
- 2 令和8年度末をもって、茅野市内すべての中学校から休日(土日)の部活動が地域に展開されます。
- 3 令和7年度の中学1年生(現在の1年生)は、入部当時とは、地域展開の方向がはっきりしない状況で入部しているので、中学3年生(令和9年度)の引退時までは部活動を継続していかれるように支援していきます。具体的には、令和9年度は平日のみの活動となりますが、団体競技で人数が少ない場合については、諏訪郡内の学校との合同部活動を検討しています。また、今後いろいろなことが課題として出てきた場合に、その都度検討して対応していきたいと考えています。
- 4 令和9年度は、地域展開がより一層進むと予想されます。平日のみの部活動となり、入部する生徒も少なくなっていく場合、十分な活動を保障できるのかが不透明な状況です。このような状況で、子どもが部活動に安心して取組める環境を考えた場合には、令和9年度の、3年生の引退をもって、茅野市内すべて学校における平日の部活動も地域展開に移行する事が良いのではないかと茅野市部活動地域展開協議会等を中心に検討をしています。
- 5 令和9年度末に平日の部活動が地域展開することになると、現在の小学校6年生(令和8年度新入生)には、条件付きの入部となることを案内する必要があるため、この件も含めて検討されています。

<以下令和8年度新入生への案内の例>

- 1年生(令和8年度):1年生の期間は休日も含めて今までと同じように活動できます。
 - 2年生(令和9年度):休日の部活動は完全に地域展開し、平日のみの部活動となります。
- そして、3年生の部活動終了と共に平日の部活動も地域展開に移行します。

現在お伝えできる内容はここまでです。子どもたちの活動が、スムーズに地域へ展開されるよう学校としても支援していきたいと思えます。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

第2回学校運営協議会

9月5日(金)に第2回学校運営協議会を行い、学校評議員の皆さんには、2学期の学校運営方針や1学期の学校の取組などについて話し合ってくださいました。その中で出された主な意見は、「先生方は忙しいと思うが、教科学習・教科指導は大切にしてほしい。」「PTA 講演会でネットトラブルについて行ったことはよいことなので、継続してほしい。多くの情報から真偽を判断できる力を身に付けてほしい。」「スマホ利用については自分事にするために、高校の先輩の話聞くような機会があってもよいのでは。」「生成 AI についても正しい使い方を学んでほしい。」「自転車利用についても継続して学び、ルールを知り、正しい判断ができるようになってほしい。」「部活動を頑張っている様子がわかる。これからどうなっていくのか心配。」「不登校傾向の生徒についても心配だが、多様な学びや居場所などの対応ができていることはありがたい。一人で孤立しないようにしてもらいたい。」「給食について食材の高騰で大変なことが分かったが、何ができるか。地域としてできることがあれば応援したい。食育を通して、現状を理解してもらうこともよいと思う。」「コミュニティ・スクールの活動が進んでいない現状がある。生徒たちの意見や願いを聞くような機会ができるとよい。」「地域がかかわることが根付いて、持続可能なものになっていくことを考えたい。学校からやってほしいことをどんどん言ってもらいたい。協力したい。」

→2月の学校評議員会では、生徒会役員などと懇談する時間を取る予定になりました。ご意見を参考にしながら、地域とともにある学校づくりを今後も進めていきます。

